

スズキ、GSX-Sシリーズの 新型モデル「GSX-S750 ABS」を発売



スズキ株式会社は、ストリートスポーツバイクのGSX-Sシリーズに750ccの新型モデル「**GSX-S750 ABS**」を追加し、3月30日より発売する。

「**GSX-S750 ABS**」は、2016年10月にドイツ・インターモトで発表したモデルで、低く構えたアグレッシブなスタイリングや、スーパースポーツバイク「GSX-R750」(海外向けモデル)ゆずりのスムーズなスロットルレスポンスと爽快な走りを特長とする。

「GSX-S1000」に次ぐ、GSX-Sシリーズの新型モデルとして、一般公道での扱いやすさを追求した高出力の749cm³エンジンを搭載し、3段階から選択可能なトラクションコントロール、ラジアルマウントフロントブレーキキャリパーなどを採用した。また、スポーティーな印象を与えるペーダルブレーキディスクや、力強さを感じさせるテーパー形状のハンドルバーを装備した。

● 「GSX-S750 ABS」の主な特長

エンジン

- ・ 一般公道での扱いやすさを追求した高出力(最高出力83kW/10,500rpm、最大トルク80Nm/9,000rpm)の749cm³直列4気筒エンジンは、「GSX-R750」ゆずりの高揚感のあるスムーズなスロットルレスポンスと爽快な走りを実現。
- ・ 発進時や低回転走行時に、エンジン回転数、ギヤポジション、スロットル開度等の情報を用いて、エンジン回転数をわずかに上げる「ローRPMアシスト」を採用し、発進・停車を繰り返す市街地走行などでの操作性を向上。
- ・ 平成28年国内新排出ガス規制に対応。

デザイン

- ・ GSX-Rシリーズ直系エンジンを搭載したストリートスポーツバイクのGSX-Sシリーズに相応しい、低く構えたアグレッシブなスタイリング。
- ・ 「GSX-S1000」と共通イメージの躍動感あふれるラインと、牙を模したポジションランプを装備したヘッドランプスタイル。
- ・ 前後輪に花卉形状のペーダルブレーキディスクや10本スポークのアルミ製キャストホイール、新パターンのブリヂストン社製タイヤを採用し、強力な制動力を発揮するラジアルマウントフロントブレーキキャリパーや新設計のスイングアームを装備するなど、スポーティーな印象を与える足回りで「走りの質感」を表現。
- ・ ハンドルが固定される中央部を大径化したテーパー形状により力強さを感じさせるハンドルバー。
- ・ 車体色は、黒／青「ガラススパークルブラック／トリトンブルーメタリック」、赤「パールミラレッド」、黒「マットブラックメタリックNo. 2」の3色を設定。

装備

- ・ 3段階から選択可能なトラクションコントロールは、前後輪の速度、スロットルポジション、クランクポジション、ギヤポジションの各センサーの情報により、リヤタイヤのホイールスピンを検出した際、速やかにエンジン出力を低減。エンジン出力をより効率よく路面に伝達することが可能となり、より快適なライディングを楽しめる。^{※1}
- ・ 前・後輪に取り付けられたホイールスピードセンサーにより各車輪速度を検知し、ブレーキの効きを自動的にコントロールして車輪のロックを一定範囲内で防ぐABSを標準装備。^{※2}
- ・ スタータースイッチを押し続けずにワンプッシュするだけで、ECMがスターターモーターを回転させてエンジンが始動する「スズキイージースタートシステム」を採用。また、ニュートラル時はクラッチレバーを握らなくても始動可能とした。

※1 トラクションコントロールは、あらゆる条件下で後輪のスリップ(スピン)を完全に制御したり転倒を防止したりするものではありません。

※2 路面状況(濡れた路面や悪路等)によっては、ABSを装着していない車両よりも制動距離が長くなる場合があります。また、コーナリング中のブレーキングによる車輪の横滑りはコントロールすることができません。

● 年間目標販売台数 400台

● メーカー希望小売価格(消費税8%込み)

商品名	エンジン	価格(円)
GSX-S750 ABS	4サイクル 749cm ³	969,840

* 価格(リサイクル費用を含む)には、保険料、税金(消費税を除く)、登録等に伴う費用は含まれない。